

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

## 【グループワーク 2：質問への答えをつくる】 A班

—— じゃあ、Q1 を選びましょう。

(F) 我々の主張に対する具体的な質問になっているのはこの辺かな、と思いますね。

「先入観なくすためには？」。これは受け手と発信側が両方重要と我々は言っているので、ある意味答えていますよね。

これもまあ、煎じ詰めるとこれかな、っていう気がしますけど。

—— 「かいつまんで説明すると、間違った解釈をされる」。

(F) 要は、なかなか一般の方は分からないので、結局は信頼関係が重要でしょうと。つまり、原子力の方が信用できない状態では何も進まないんじゃないか、ということだと思うのです。

あと、こういう場で理解を深めるのはいいんですけど、こういう場を 1 億人にはできませんよね、確かに。だから、「1 億人を対象に」どうやって信頼関係を作っていくのか。

—— で、Q1 はどうしますか？

(F) これとこれは似ていますよね。こういう場で信頼関係を築くしかない。人と人、っていうことでしょうか。フェイストゥフェイス。それがひとつですよ。それをどうやって大規模でやっていくのかということ。

—— こういうのは、やはり時間をかけて、根気よく続けていかないと。1 回くらいでは、すそ野を広げていかないと。

—— 時間はかかる話ですよ。

(サブ F) 「フォーラムのような場が良いという点は賛成」という話が出ていますね。これはコメントだけど、「場」ということで、ここに加えていいですか？

(F) つまり、国民全体に広げるには、ということですよ。

これは本質的のような気がするな。結局組織が駄目っていう。まったく同感ですけど(笑)。

まあ、向こうの班でそういう議論をしていましたけどね。

—— これは意思決定者の話ですか？（「今の経営陣・意思決定者が変わらないと、信頼関係が築けないような気がします、どうですか？」）

(F) そうですね。そうしないと結局信頼関係が築けないということでしょうか。我々は信頼関係が重要という主張をしているから、こういうことが原因じゃないんですか？ という質問ですよ。それはごもっともかなという気がしますけど。これをやりますか？ これは簡単ですよ。「はい」で終わりのような気がする（笑）。

—— Q1 はそこで行きましょうか。

(F) 「はい」でいいんですか？ 議論になりませんが。

—— 「今の経営陣・意思決定者が変わらないと、信頼関係が築けないような気がします、どうですか？」。答えは、「そう思います」ですよ。

(F) それしかないような。まあ、もう少しポジティブに言うと、では、どうやって上のほうを変えていきますか、という話ですよ。

どうですか？

—— 場づくりについての話はどうですか？

(F) それはひとつありますよね。

—— 3 番目。

—— 3 番目にしましょうか。

(F) え？ 3 番目ですか？ まあ、とりあえず 3 個ノミネートするのが重要ですよ。これとこれは候補ですね。あとはどれでしょうか。皆さん、答えやすいものを選んでください。

—— 「情報の中身はどのようなものか？」。

—— 「情報の中身」って、何を聞きたいんでしょうね。

(F) 情報は、迅速にとか言っているから、事故情報でしょうか。

—— 不適合関係ですね。

—— 1週間後に言われるとかはいやですよ。

—— そうですね。

—— じゃあ、これを2番目にしますか？

(F) でも、こんな簡単な質問でいいんですかね？ これも答えがすぐ出ちゃうような気がします。なんか、皆さん、やる気ないですね(笑)。私もやる気がないという点では負けませんが。

—— いやいや、だって、私たちに対して、これしか質問がないんですよ。もうほとんど質問がないってことですよね。

(F) まあ、そういうことですね。質問しにくいですね。

じゃあ、これでいいじゃないですか。決まり。他に何かありますか？

ここにもあるな、倫理？

—— 質問を解釈するのも大変ですよ。

(サブ F) 「ムラという言葉がなくすには、倫理だけでは足りないのでは？」。

—— これ、向こうの班(B班)じゃないですか？

—— 混じっていますね。倫理は向こうですよ。

(F) まあ、この辺に置いておけばいいんじゃないですか。

あと質問らしいのは、でも、まあ、やはりこの3つでしょうか。

—— だけどこれ、どうだろう、さっきの経営に関する質問は、倫理の話につながるんじゃないですか？

(F) でも、この倫理の質問は、ムラをなくしましょうっていうことでしょう。

(サブ F) 「ムラという言葉がなくすには」とありますね。

(F) まあ、本質的ではないから、この3つでいいんじゃないでしょうか。

—— この辺は、要するに、信頼関係が大事だと言っているけど、それを構築するのにどうすればいいと思っっていますか？ という質問ですよ。

—— そうですね。どうすればいいんですかと。

—— 今の経営の方式がいいのか？

それと、情報で信頼性を向上するにはどうしたらいいのか？

あと、こういう場は信頼性向上に役に立つと思うか？

という感じなのですよ。

—— そうすると、まずはそもそも信頼関係を築ける状態かどうかという、この質問が①。

どう説明したら皆に分かってもらえますか。先入観をなくしてもらえますか。この辺りの質問が②。

最後が、こういう場をどうやって構築していけるか、という③。それでいいんじゃないですか？

(F) 順番もそうしますか？

—— 順番は変えてもいいですよ。

(F) 優先順位は、③（をどれにするか）が重要なですよ。①と②はどうせ答えなきゃいけないから。

(サブ F) ③は、時間があればです。

(F) ええ。重要じゃない質問。

—— 3番は重要じゃない質問ですよ。

(F) ええ。だから、それを選ぶことが重要なんじゃないですか？ ①と②は、順番はあまり関係ないですよ。どうせやらなきゃいけないんだから。

— では、順番はどうしますか？

— こういう場が役に立つのか？ みたいな質問は、

— うん、話してみたい気がする。

(F) じゃあ、これを①にしましょうか。

「池上さんは信頼できますか」は、除外ですか？

— 具体的過ぎる。

— 除外です。それは個人の意見ですから。

(サブ F) では、これが Q2 ですか？

(F) で、これが 3 番。

では、皆さん、答えを、あ、先に確認しましょうか。

ええと、Q1 は、こういう場が有効です、というのはたぶん根底にあるんですよ。では、国民全体にこういう場を広げるとか、あとはどうやって継続するかとか、そのためにどういう工夫があるのでしょうか？ という質問ですね。

(サブ F) 「どう広げるか」というのはどこにありますか？

(F) 「1 億人を対象にどうすれば良いか？」とあるので。つまり、国民全体にということですよ。

(サブ F) 1 億人を対象に (アンダーラインを引いた)。

あとはここですか？

(F) こういうこと (継続すること) ですよ。大規模に、続ける、ということですよ。これに対する答えを、皆さん、あとで用意してください。

2 番目は、情報の中身？

—— 親しみやすくするためには、イメージアップするためには、透明性や説明責任を果たしましょうという発表をしたので、だったら、その中身は？ ということですかね。

(F) では、具体的に、ということですね。「例えばこういう情報」という答えでもいいし。「こういう手段」という答えでもいいし。そういうのを皆さん、考えてください。

—— たぶん、Q2は、これが一番ですよ。「何があると信頼できますか？」「先入観をなくすためには？」。そのためには、どんな情報ですか？ たぶん、そんな感じなんでしょうね。

(F) キーワードは「信頼」なのですよ。

で、Q3（今の経営陣・意思決定者が変わらないと、信頼関係が築けないような気がしますが、どうですか？）は、たぶんイエスだけだと思いますが。

では、皆さん、ポストイットに答えを用意してください。といいながら、自分でどう書くのかな。

(サブ F) 2分ぐらいをお願いします。まず、①の回答でいいので。

(F) あ、それで2分でいいんですか？

(サブ F) はい。その後、Q2のときも2分、という感じで。

(記入中)

(サブ F) あとで回答と紛らわしくならないように、クエスチョンだけ囲わせていただきますね。。

—— はい。

(記入中)

(サブ F) とりあえず2分経ちました。

(F) はい。書き終わった人は、ぱっと見た感じ、では、そちらの方からお願いしましょうか。

—— はい。「説明を頑張れば、信頼関係を築けるということで良いでしょうか？」に対し

では、説明がない、分かりづらいから、誤解を生み、反感、アレルギーを生むと思うし、嘘を言われているようで不信につながるから、まずは説明をきちんとするということだと思います。

で、きちんと広報が情報を出したら、信頼関係はましになるような気がします。

(F) はい。では、次の方、お願いします。

—— はい。これはジレンマみたいな感じなのですが、こういう場を継続するには、やはり推進側の支援が必要。

—— 推進というのは、原子力のですか？

—— 原子力ですね。そういうところの支援がないと、基本的には理解が進んでいかないうのかなという気がします。これもやはり文部科学省とかで。

—— でも、そうしたら、推進側がスポンサーになりませんか？

—— だから、ジレンマですよ、ということなのですね。そこで作為に思われてしまうと、よくないですよ。そこは難しいところで。

あと、「1億人を対象に」という話もあったんですけど、何も1億人にやる必要はなくて。ちゃんとそういうことに対して、良くも悪くも意識を持っている人。無意識でいいのかという話があったと思うんですけど、そういう意識を持った人にちゃんと話をするだけでも、何か必ずあるはずで。必ずしも1億人を目指さなくてもいいのではないかなと。すみません、まだそこまでしか書いていません。

(F) はい。では、次の方。

—— 「フォーラムの良いところ」っていうのは、やはり、コミュニケーションを取ることとはとても大事なように思いますね。

それと、こういうことはやはり時間をかけて繰り返し、繰り返し行うことで、広げていけるということですね。

(F) では、次の方、お願いします。

—— 時間はかかるが、話し合いの場を多く持つと。それで、多くの人に聞いていただくということ。

あと、こちらのほうの、あ、Q2はまだですか？

(サブ F) まだです。

—— ああ、まだですか。ちょっと勘違いしていました。

(F) 1枚だけでいいですか？

—— はい。1枚です。

(F) では、次の方、お願いします。

—— テレビと SNS の利用ということで、Twitter がテレビで流れるのがあるじゃないですか。

—— NHK の？

—— そうです。

(F) ああ、あれですか。

—— はい。そういう感じでやっていたら、皆の意見がちゃんと聞けるのかな、ということです。

—— せきららボイスとかありますね。あれはフジテレビか。

—— ええと、継続できるかということで、興味を持たせるような議題。

あとは、お互いの歩み寄りということで、一般の人と皆が歩み寄ればいいのかっていう意見です。

(F) ありがとうございます。

私は、成人対象の教育で、やはり公的機関がやらないと信用してもらえないかなという気がしました。自治体とか、政府とか。

(サブ F) 自治体、政府と書いていいですか？

(F) そうですね。推進側がやると、信頼は得られないかなと。

あるいは NPO でもいいかもしれない。NPO も結構お金が流れていたりしますからね、実は。

—— そうそう。

(サブ F) 書かないでいいですか？

(F) あ、NPO はダメですね。公的じゃないと。

あと、これはあまりいいアイデアではないのですが、やはり一般の人に興味を持ってもらわないといけなくて、ノベルティーグッズとかがあるといいかなと個人的には思います。なんでもいいのですが、何かインセンティブがあると参加しやすいかなという印象です。

では、そちらの方、どうぞ。

—— はい。考える過程を書いただけなのですが、場づくりについては、誰が、どのような方法で、資金はどうするのかという視点で考える必要があるかなと。

で、誰が、という部分では、ムラの人か、ムラの外か、という両極端じゃなくて、コミュニケーションの専門家がやったらどうか。例えば、ファシリテーターを仕事としてやっている人もいたりするので。色が無い人。コミュニケーションの専門家がやったらいいいんじゃないかなと。

どのような方法とかは書けなかったのですが、こういう場もそうだし、あとは SNS というのもそうだと思います。まだ考えている途中です。

(F) では、皆さん、自由に意見を言ってください。まあ、まとめる方向に議論してもらえるといいんですけど。

(笑)

(F) まあ、できればです。

例えばこういう答えに対してどうだとかああだとか、まとめられるとか、自由に。2分くらいしかないんで、回している暇はあまりないので。

—— 結構、この質問についてはこれ、この質問についてはこれ、っていう感じに分かれましたね。

—— 確かに、SNS みたいなものを使っていくと、分かりやすいのかもしれない。

—— ネットの住人って、すごく主張が偏っていませんか？

—— 案外そうでもないんじゃないかな、という気はするんですけどね。

—— 2ちゃんねらーとか。

—— ああ、その中だといろいろとあれだと思いますが。

(F) 2ちゃんねるは分野によりますよね。

—— そういう意味では、例えば、Facebook なんかは、いろいろな人、いろいろな分野の専門家がいっぱいノミネートしていますし。

—— 1億人に対しては、[テレビと SNS の同時利用] がいいですよ。

で、フォーラムが必要ということは賛成で、継続しようと思ったときには、資金とか、

(F) 誰がやるかとか。

—— 回答も、いくつか分かれていますよね。だから、3列作りますか？ 「説明が必要」はこっち。「1億人対象」はこっち。「継続」の話はここ。

「1億人対象」が、コミュニケーション、SNS。

1億人を対象にするのでも、「時間をかけてじっくり」ですか？ それとも、

—— いや、1億人を対象とは思っていないんだけど。

—— その付箋は、場づくりの話ですよ？

—— そう、場づくりの話です。

—— じゃあ、これは場づくりですね。

こうすればいいんじゃないですか？ これについては、こう。これについては、こう。これについては、こう。

(サブ F) ①なのに3つありますね (笑)。

—— まあ、答えがそうなってしまったので、仕方がないということですね。これでよろしいですか？

—— そうですね。整理していたらそうなったと。

(サブ F) ネットがいいんじゃないかということと。でも、使っている人が偏っていると。

—— 1億人に対してはやはりネットということで。海外にも発信できますからね。

—— できるだけオープンに。そうですね。

(サブ F) はい、もう（時間が）終わりました。次です。

(F) では、次は、またポストイットに答えを用意してください。どうすると信頼が得られるのか。あとは、先入観をなくすために、というのがありますけど、まあ、どうやると信頼が得られるのか、ということですね。

(サブ F) これも2分です。では、いきます。

(F) 難しいな。

(記入中)

(サブ F) 一応2分経ちました。

(F) 終わった方は、手が止まっている方、でいいんですか？

(サブ F) そちらの方はさっきから作っていましたから。

(F) そうですね。じゃあ、いいですか。

—— これは、いろいろありますけど、不具合情報ですね。いつもマスコミに出てくるのは、起きちゃいましたという情報。そこで危ない、危ない、という感じになってしまうんだけど、結局何が原因だったのか、そしてどういう対策をしたか、そして再発しないようにするにはどうしたのかというところまで、ちゃんと全部丁寧に分かりやすく、でき

るだけ多くの人に伝わるような努力をしなければいけない。どちらかという、危ない、危ないって感じになってしまうので。それを何とか、ちょっと仕組みを作らないといけないのかなと。

それをどういうふうにやっていったらいいかという、透明性を持って、隠ぺいしているんじゃないかと疑われないように、繰り返し、繰り返し、誠意を持って説明すると。これに尽きるのではないかと。

(F) では、次の方。

—— 情報の出し方というのは、やはり速く、こちらが理解できるように出させていただく。すごい難しいんでしょうけど。先ほどから、この意見が多いような気がします。

—— 確かに。でも、それが必要なのは分かっているのですよ。

(F) タイミングと正確性の両立みたいなことでしょうか。

—— そうですね。要は、かなり皆疑っているので、その裏返しで、努力がすごい必要だと思うんですよ。

(F) では、そちらの方、お願いします。

—— はい。信頼してもらうには、結局、分かりやすい解説が必要だということで、それを中立的な説明者が説明していくということ。分かりやすいだけではたぶん駄目で、信頼できる人が説明しないといけない。

そういうものとともに、この場でも何度か出ていましたけれども、やはり教育制度で、ちゃんとこういうものがあるんだということをきちんと教えていく。その上で、いろいろなことに対する説明が後からついてこないといけないのかなと。

—— 先入観をなくすような教育ですか？

—— 先入観をなくすというよりは、先入観を持たないようにする教育というのでしょうか。いろいろなことをちゃんと、若いうちに教えていく。それに対して、個人がどう思うかというのは、もう先入観じゃなくて、得た知識に対しての考えを持つということになるので。

(サブ F) 中立的な説明者というのは、具体的にはどういう方ですか？

—— これはなかなかあれだと思いますね。私が思うのは、利害関係者ではない人。だから、池上彰でいいのかという話もありましたけれども、分かりやすいのであれば、それはそういう人はいいと思うんですよ。嘘さえなければ。

(サブ F) 利害関係のない人ですね？

—— そうですね。あとは、親しみやすい人、という言い方でもいいのかもしれない。

—— 私たちとしては、分からないものは池上さん、というのは、とっかかりとしてはすぐく入っていきやすいところがあります。

(サブ F) 小・中学生に分かりやすくっていいことですからね。

—— そう、それがすごい大事だと思います。

(F) では、次の方、お願いします。

—— 情報の中身ということで、都合のいいことだけではなく、都合の悪い真実も出す。

環境汚染、廃棄物処理のコスト、様々な税金投入、お金の流れ、メリットもあればデメリットもあると思うし、健康被害など、全て、そういうのも出してほしいなど。

先ほどそちらの方が不具合情報とおっしゃいましたけれども、疑ってかかれないようにだまさないことかなと。

(F) はい。では、次の方、お願いします。

—— はい。ええと、場づくりの話になっちゃうんですけど、やはりじっくり話ができる、交流できる場を作る。まあ、どうしたら信頼できるかという、その方法のひとつとして。

あと、説明するというよりも、こちらからの疑問に対して答えるという形がいいんじゃないかなと。

—— そうですね。

—— あと、冒頭の自己紹介のときに言ったんですけど、原子力はやはり危険なものは危険で、それがどう危険なのかという説明。先ほどそちらの方が言ったんですけど、「ただちに」の意味がよく分からないとか、

(総合 F) あと 15 分です。

—— で、危険は危険なのだけど、それをどう管理するかという話かなと私は思ったので。危険だけど、こう管理していますよ、だから安全性を高められますよ、という方向にしたら、絶対安全と言われるよりも、信頼できるんじゃないかなと。

あとは、文部科学省だっけ、環境省だっけ、どこに何を聞けばいいの？ というのが分からないから、困ったらここに聞くというプラットフォーム。

(F) 次は私か。

—— そちらの方は？

(F) あ、お先にどうぞ。私は大した意見はないので。ぜひ、主張してください。

—— 情報をあやふやにしないで、ちゃんと向き合う。お互いがちゃんと向き合う。

(F) ごまかさないということですよね。

—— そうですね。

あとは、そういう言葉を作って、お互いが隔たりを作らない。ちゃんと向き合って話し合えば、ちゃんと分かる人だと思うので。そういうことですね。

あと、一緒になっちゃうんですけど、お互いが分かり合おうとすること。そういう努力も必要なのかなと。

それから、信頼関係を築こうとする努力。

あと、時間はかかってもいいので、とりあえず分かりやすく。でも、スピーディに情報を公開してほしいなど。

—— 最後の付箋は、情報公開に関することですね？

—— はい。

(F) 正しく、タイミングよく、分かりやすく。煎じ詰めるとそういうことですね。

—— では、ファシリテーターさん。

(F) ええと、これは無理だと思うんですよ。

—— そんなこと言わないでください。

(F) いや、これは冒頭の自己紹介でもありましたけど、国民の信頼は、もう完全に失っていると思うんですよ。で、原子力関係者が、信頼が回復できているから、うまくいかないんですよ。たぶんそうだと思いますね。

強いて言えば、やはり、時間をかけて、丁寧に続けるしかないですよ。

—— だからって、どうせ無理だよと何もしないのはいけないと思う。

(F) だから、時間をかけて丁寧にやるしか、我慢しかないと思うんですよ。で、原子力関係者が自信を持って、「説明すればこいつらは理解する」と思っているから、うまくいかないんだと思います。

—— 「こいつらは」って言い方はよくないと思います。

(F) たぶん、そう思っているところがあると思いますよ。

もっと現実的なことを言うと、これは笑われると思いますけど、国民が忘れるのを待つのが一番いいですね。これが現実的だと思います。電力会社はこれを考えているかもしれません。

—— ああ、そちらはね。

(F) たぶん。

—— 私たちは「こいつら」ですから。

—— 忘れません。

(F) でも、そう思っていると思いますよ。

—— 私も忘れないし、子供にも言っているし、子供たちも忘れないし。

—— 大きな話だから忘れないと思うけど。

—— 福島の人が避難している以上、絶対に覚えていると思いますよ。ほとぼりが冷めるのを待とうというのは、それは、

—— それは無理。

(F) でも、今は実は、国民の大多数は忘れかけているんじゃないかと思うんですよ。

—— いやいや。

(F) そうでもないですか？

—— いやいや、そうでもないです。マスコミは、

—— そういうふうに思っているから、ムラとムラの外の垣根が越えられないっていう。

(F) 私はどちらでもいいんですけど、

—— 結局、木村先生の最初の話がくつがえされちゃいますよ。

—— マスコミがそういうことを言うんだけど、

—— 私は、そういう考え方をされると、もう…。ひがみとかねたみとか、そんなの一切思ってもいないのに、そんなことを思っている辺りが、ちゃんちゃらおかしいと思って。

(F) ねたみは、他の業界の人だと思いますね。

—— 普通の人には、ねたみなんかありませんね。ただ、怒っている。

—— ファシリテーターさんみたいな考え方の方がいらっしゃるんだなというのを知れたのも、このフォーラムのあれだけども、それを皆がどう思うかということを考えて発言したほうが良いと思います。

(F) まあ、私はかなり変わっていますからね。保守的な組織の人はこのことは絶対言わないですから。

—— たぶん口には出さないんでしょうね。

(F) そうでしょうね。

—— 国民が忘れるのを待つといたら、今アメリカ人にハローって言っているけれども、ちょっと前までは戦争していたわけですからね。

(F) それはそうですね。

—— 沖縄の子供たちは、高校時代に沖縄のガマ（洞窟）などを訪れて、火炎放射器で焼かれたところを見てきているわけですから。待つのは、

—— 無理ですね。

(F) 明日結果が出るのかな、という気もしますけどね。

—— 選挙とはまた別問題だと思いますけどね。

—— 別問題でしょうね。

—— でも、その選挙で、どうのって動かれるのは、困る。

—— そうですね。例えば原発を推進している自民党が大勝したからといって、原子力を日本人皆が賛成しているかといったら別問題なのに、そうこぎつける、絡めていくところが嫌なのです。世論操作のようで。

—— いやいや、自民党も、なくしていくというところはあるんですよ。ただ、今使わないと経済が成り立たなくなるから、使えるんだったら使うよと。

(サブ F) 先ほどのご意見は、忘れないということですね？

—— 忘れないだろうと。

(F) ちょっと時間が押しているんですけど、カテゴライズしないといけなくて。信頼を得るためにはどうしたらいいのでしょうかということで、答えをある程度まとめたんですけど。ええと、これが結構強い意見かなと思うんですけど。

(サブ F) (先ほどの発言は) 専門家の方の考えを知ったのは良い、正直で良いと。

— いや、私は、正直は良いとは思わない。正直だからいいのでしょうか。じゃあ、なんのためにこれをしているの? 私たちを馬鹿にするためにしているわけですか? そもそも論外ですよ、こんなの。

(サブファシリテーターが) 正直で良いって書いたけど、私、そんな意見は言っていません。

(サブ F) 「知れたのは良かった」と言ったと思ひまして。

— でも、「正直でいい」って書いているでしょう。

(サブ F) ええと、そう思っているのを知れたのが良かったと言ったんですよね?

— いや、やはりそうなんだなと思っただけの話で。

(サブ F) ああ、そうなんだなと。じゃあ、そういうふうに書きます。

(F) でも、それは質問に対する答えではないような。

— 違いますよね。

— 「正直が良い」とは言っていません。

(サブ F) はい。分かりました。

(F) この辺が一緒なのかな。

— 方法と中味でしょうか。情報の出し方、方法と、

(F) あとは、時間をかけて、というのが多い気がしますね。

— 時間をかけてですよ。

(F) 繰り返し丁寧に。

—— それしかないですね。そんなに簡単にいく問題ではないので。

—— ええ。一朝一夕にできる話ではないです。

(F) 「あやふやにしない」というのは、情報の出し方でしょうね。  
あと、「質問にちゃんと答える」というのは、確かに重要ですね。

—— 質問に答えるというか、質問をする場。

(F) ああ、一般の方が、ということですね？

—— そうです。一般の人間が質問する場がない。

(F) 確かにそうですね。

—— たぶん、事業者は、ホームページに「ご質問はこちら」みたいなものを書いていると、質問を聞いている気になっている。

(F) 地元に対しては説明会をやっていますけど、一般にはやっていませんよね。

—— ええ。一般にはやっていないので。やはり、一般の人の質問の場を作るべきだと思います。

—— あれ？ それは「先入観なくすためには？」への回答ですか？

—— いや、こっちの、

—— 何があると信頼できますかと。質問の場があれば、少しは信頼できるかもしれない。

(F) この辺は同じですね。この辺は、情報の出し方ですね。

—— これは、ここでしょう？

—— ここに関連してくるんじゃないかな。

—— どの視点で（回答を）分けるのかがはっきりしていないですね。出てきた意見で、

似たものを集めるっていうのはどうですか？

—— そうですね。仲間を集めましょうか。

—— これとこれは同じことを言っていて。情報の出し方と、情報の中身ですね。

(F) でも、こっちにも近いような気もしますけど。まあ、そもそも「信頼」というのがキーワードになりますけど。

—— こちら（何があると信頼できますか？）のほうが問いとしては大きいんですよね。

(F) 本当はこれが一番優先順位が高いんですよね。

—— キーワードですね。

(F) まあ、①と②はどうせ説明しないといけないから。

—— この付箋は、「先入観なくすためには？」という質問への回答ですか？

—— そうです。先入観をなくすためには、やはり中立的な人がいるかなと。

—— そうですね。

—— 確かに池上さんの説明って、ああ、そう説明するのか、っていうところがあるんですよ。

—— 切り口がね。

—— 原子力の本って、どれを見ていいか分からないので、（池上さんの本は）とっかかりとしてはすごく入りやすいんですよ。そうすると、次に持っていける。我々も。（池上さんの本を読んで）すごいよく分かりました。

(総合 F) 皆さん、あと 5 分で発表していただきますので、発表の準備をお願いします。準備が終わった班は、ボードに貼ってください。

—— そうですよ。専門家はどうしてもあれもこれも書きたがるから。

(F) 発表する人が説明しやすいように。

(サブ F) 発表者を決めておいてください。あと 5 分です。

(F) やりたい人はいませんか？ 先ほど専門家の方が発表したから、一般の方がやったほうがいいかなと思うんですけど、どうでしょう？ 今まで発表したことがない人がいいですか？

—— こちらのほうがすればいいのでは？

—— Q3 についても、少し書きましょうよ。

(F) では、Q3 も一応考えていただいて。

—— ここはコンプライアンス教育ですね（付箋を貼った）。

——（発表を）補助しましょう。皆で。

(F) 足りなければ、皆であとで言えばいいので。

すみません、時間がないんですけど、Q3 の答えを書いてください。

(記入中)

—— もう Q3 はスルーになっちゃうのかなと思ったんですけど。

(F) 発表者の一存で、時間がなければ話さなくても、ということで。（発表は）3 分でし  
たっけ。

—— これはそちらの方の意見と近いと思うんですけど。

(サブ F) [人物でなくマインドを変えることが大切]。

—— ええ。マインドが同じ人だと駄目。人ではないということ。

—— ああ、そうですね。人じゃなくて、そこですね。もうこれに尽きます。

(F) 時間がないので、貼った方から説明していただけますか。ええと、これはそちらの方が貼ったんですっけ？

— はい。やはり、倫理観を持って臨む。そのためには、繰り返しのコンプライアンス教育をやっていかないといけない。

— では、次は私。どう思っているかが大事であって。同じ気持ちの人がやっていたら変わらないかなと。意識を変えていくことがまず大事ということかなと。

— そう思います。(今の意見に同意)

(F) その通りということですね。

— その通り。倫理観を持って、人として恥ずかしくなく臨むこと。

(F) 組織の上のほうが、ということですよ。

— まあ、全員ですよ。

— 全員。同じことですよ。恥ずかしくないように。

— 私のところは、半年に 1 回は必ず (コンプライアンス教育を) やってましたからね。

(F) 私は、C 班が書いていたんですけど、やはり組織の幹部に流動性を持たせる必要があるかなと。人が変わっても、結局下から持ち上がってくると、同じマインドを持っているので、やはり流動性を持たせないと駄目なのですね。

— 意思決定者についてですか？

(F) ええと、そうですね。

— そちらの方は書いていないみたいですが。

— ああ、そちらの方のご意見と一緒にです。

—— 同意だったら「同意」だけでも書いたらいかがですか？

—— じゃあ書きます。

—— 札の色が違うから、ということですね。

—— 〔同感〕。大きく書いておきます。同感です。

—— この「そう思います」というのは、質問に対してそう思います、ではなくて、こっち（私の意見に対して）ですよね？

—— そうです。

(F) まあ、3番目は、特に変わった意見はないから、重要だということですね。

—— 私は、中の人だけではなくて、外の人も意思決定者に、という意見です。

Q2は、発表しやすいように分けていいですか？

—— いいです。

(F) 発表は3分でしたっけ？

(サブ F) はい。

(F) 説明しやすいようにしてください。

—— タイトルを書くスペースが欲しい。

—— もうちょっと下げましょうか？ このくらいで大丈夫ですか？

—— はい。大丈夫です。

(総合 F) そろそろ準備をお願いします。最初の発表はB班です。

(発表者がQ2の回答を分類、タイトルを記入)

—— 私は、これは情報の中身のつもりで書いたんですけど。

—— ああ、本当ですか。すみません。

—— 下にはみ出てもいいんじゃないですか。

(サブ F) ええ、ぶら下がっても、テープで貼りますから。

(発表者が Q2 の回答を分類、タイトルを記入)

<終了>